

大館市教育委員会会議録

日 時 平成29年9月27日（水）
午後3時30分
場 所 大館市立矢立公民館 大会議室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1 開会の日時 及び場所	日 時	平成29年9月27日(月) 午後3時30分		
	場 所	大館市立矢立公民館 大会議室		
2 出席委員の氏名(4名)				
教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	根 田 穂美子	
委 員	清 野 克 子	委 員	小笠原 正 卓	
3 欠席委員の氏名(なし)				
委 員				
4 委員以外の出席者職氏名				
	なし			
5 出席した職員の職氏名				
教 育 長	高 橋 善 之	教育総務課長補佐	成 田 浩 司	
教 育 次 長	佐々木 修	学校教育課長補佐	小松原 功 秀	
教育総務課長	加 賀 安 長	生涯学習課長補佐	小 玉 均	
学校教育課長	山 本 多鶴子	歴史文化課長補佐	大 井 和 博	
教育研究所長	貝 森 逸 子	スポーツ振興課長補佐	佐 藤 税	
生涯学習課長	一 関 留美子	生涯学習課生涯学習係長	佐 藤 正 平	
歴史文化課長	若 宮 司	教育総務課総務係長	関 智 仁	
スポーツ振興課長	菅 原 悟			
6 会議録署名委員 教育長・小笠原委員				
7 会議書記 教育総務課 総務係長 関 智 仁				
8 教育長報告				
(1)	大雨被害等の復旧状況について			
(2)	全小・中学校へのエアコン設置状況について			
(3)	第26回大館市スポーツレクリエーション祭について			
(4)				
(5)				
(6)				
9 議 事				
10 その他				
(1)	NPB未来の侍プロジェクト ベース・ウォール設置について			
(2)	「大館教育ツーリズム」戦略の概要			
(3)	矢立公民館移転事業の内容について			
(4)				
(5)				

議 事 の 経 過	
開会 午後3時30分	
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 本日の会議録署名委員は、小笠原委員にお願いします。
教育長	会議録の承認についてです。 7月28日分について、何かお気づきの点がありましたでしょうか。
委員	言い回しですが、3ページの私の発言で「教える方がいらっしゃいますか。」を「教える方がおられますか。」に、「能代には」を「能代市」に、「活動が定着しているようです。」を「早くから活動が定着しているようですが。」に修正願います。次に5ページの学校教育課長の発言で「間もなく日本へいらっしゃるところです。」を「間もなく日本へこられるところですか。」と修正したほうがいいのではないのでしょうか。
教育長	おっしゃる通りです。
教育長	他にありませんか。
全委員	無し。
教育長	「無し」とのことですので、修正の上、承認とさせていただきます。
教育長	それでは、次に報告事項をお願いします。報告の(1)から(3)について事務局より説明をお願いします。
教育総務課長	(「大雨被害等の復旧状況について」を、資料により報告)
学校教育課長	(「全小・中学校へのエアコン設置状況について」を、資料により報告)
スポーツ振興課長	(「第26回大館市スポーツレクリエーション祭について」を、資料により報告)
教育長	以上3件の報告について、質問やご意見等ありませんか。
委員	教育総務課の「大雨被害等の復旧状況について」です。処理状況に倒木の除去とありますが、学校の敷地には木がたくさんあります。今回、倒れていなくても、倒木を防ぐため伐採したほうがいい木がたくさんあるのではない

	<p>でしょうか。この異常気象の折り、「吟味」、「チェック」が必要ではないでしょうか。</p>
教育総務課長	<p>委員ご指摘の通り、学校には木がたくさんあります。学校から要望があった場合は木を撤去しています。学校には記念樹などがあります。危険なものはPTAや地元と協議し、撤去するようにしています。日々の点検で危険だと判断されたものも撤去するようにしています。また、学校以外でも公民館などで立ったまま枯れてしまい危険な木もあります。そのような場合は、倒してしまうなどの対応をとっています。十分気を付けながら予防策をとっていきたいと考えています。</p>
委員	<p>数が多く大変だと思いますが、よろしくをお願いします。</p>
教育総務課長	<p>分かりました。</p>
教育長	<p>学校や公民館には桜のいい木がたくさんあります。なかなか管理が大変です。</p>
教育総務課長	<p>桜については教育委員会だけではなく、関係課で連携をとりながら対応していくため、都市計画課が窓口となり各課で協議しながら対応していく予定です。教育委員会では現在、年間1校ずつ桜の手入れをしています。市全体として対応を考えていく動きがあります。</p>
委員	<p>そのようにお願い出来ればありがたいです。</p>
教育長	<p>他にありませんか。</p>
委員	<p>教育総務課にお伺いします。「大雨被害等の復旧状況について」の報告の中に、「近年の異常気象については、気象庁の発表などを受けて、その都度状況に即した通知を施設管理者に送付し、緊急出動」云々とありますが、これについてももう少し詳しく説明願います。心配なのは、例えば、長期の休みで学校にあまり人がいないときにそのようなことが起きて、次の日に学校へ子どもが遊びに行った場合など、危険なことが起こらないかという懸念があります。</p>
教育総務課長	<p>台風や豪雨などはある程度予測できます。その情報は常に危機管理課が持っていて、各課、各機関に情報を出しています。その情報やこれまでの経験値から、例えば学校教育課から各校長へ、生涯学習課から各公民館へというように、その状況に応じた注意喚起の通知を各管理者へ送っています。また、職員は市の危機管理通知メールに登録しています。そのメールを受け出動などの必要な措置をとっています。学校では、管理職である校長、教頭が通知</p>

	を受け、休日であっても必要な場合は見回りをしています。有浦小学校で今回、休日の見回りでシャッターの破損を発見し、速やかに教育総務課で対応し修理したという状況です。
委員	分かりました。安心しました。
教育長	今回の台風18号は休日でしたが、最大瞬間風速が27.8メートルという強い風が大館でも吹きました。休日でなければ、ちょうど登校時間に強い風が吹いていましたので、登校時間をずらす又は休校にするといった措置をとっていたと思います。
委員	分かりました。もう一つお尋ねします。昨今の北朝鮮のミサイルの対応についてです。他の学校の状況はわかりませんが、私の子どもが通っている長木小学校と東中学校では、学校から一斉送信のメールが保護者に送られ、注意喚起を促すようになっています。今回はどちらも朝の7時ぐらいで、それほど影響はありませんでした。実際にこれが登校時間だった場合、市としての方針など、学校へ伝えているものがあれば教えて下さい。
学校教育課長	先ほどの風水害の時のメールと同様に、市職員、学校の校長へ情報が届きます。また、保護者には学校を通じて情報が届きます。しかし実際には、子どもたちが一度家庭を離れてしまうと、子どもたちはそれを知る術がありません。そこで学校教育課で対策を協議し、Jアラートがなった場合、子ども110番の家や町内会長さんが外へ出て、登校している子どもに声をかけ家に入れていただくこととし、各学校から子ども110番の家や町内会長さんへお願いすることにしました。
委員	分かりました。
教育長	ただ、ミサイルは10分足らずで飛翔してきますので、むずかしいです。ミサイルの対応について何かご意見ありますか。
委員	先ほどの学校教育課の取り組みは大変良いと思うので、学校の避難訓練など何かの機会に子ども110番の家などにもご参加いただく、そのような訓練が必要な時代になってきたのではないかと感じました。
教育長	ミサイルに限らず例えば不審者に対応するためにも、子ども110番の家がどこにあるのか、何かあったらすぐそこに助けを求めに行くという指導は徹底していきたいと思います。それから、ミサイルに関して子どもたちが学校にいる場合の対応を説明して下さい。
学校教育課長	地域の中では学校が頑丈な建物だと思われるので、先生たちが指示を出し、窓ガラスから離れ校内で待機することになっています。保護者への引き

	渡しにつきましても、ミサイルに限らずさまざまな災害に対応するため訓練を行っています。
委員	分かりました。
教育長	他に何かありますか。
	(「無し」の声あり)
教育長	その他に入ります。何かありましたら発言願います。
スポーツ振興課長	(「NPB未来の侍プロジェクト ベース・ウォール設置について」を、資料により報告)
教育長	何かありますか。
委員	大館市に決まった経緯を差し支えなければ教えて下さい。
スポーツ振興課長	今年の12月に行う事業のベースボールクリスマスの関係でNPBにあいさつへ行った時、ベース・ウォールの話が出ました。各都道府県に1基ずつの設置でしたので、場所を検討し応募しました。早い者勝ちのような感じでした。28年度末で26基設置済みで、29年度で47基の設置を目指しているそうです。
委員	分かりました。ご縁があるんですね。良かったです。
教育長	他に何かありますか。
委員	学校では学校祭や学習発表会で、ふるさとキャリア教育の活動の成果を地域の皆さんに公開している期間だと思います。この後また「きりたんぽまつり」で地域だけにではなく一堂に会して展開されるということで、いい形で実を結んでいると感じています。このような中であって先日、地元紙に市の奨学金について掲載されました。官民連携によるふるさとキャリア教育で、自己実現を目指すところが見えてきたという思いで記事を拝読しました。その辺のところについてお知らせいただければと思います。
教育長	概要を説明して下さい。
学校教育課長補佐	奨学金の返済に対する補助は、教育委員会ではなく商工課で行っています。まず、秋田県が行っている奨学金の返済に対する三分の一の補助があります。これは、秋田県に戻ってきて就職した場合に限定されます。それを活用しても返済は残りますので、それを埋めるために大館市の補助があります。ダブ

	<p>ルで活用できる仕組みになっています。大館市の補助は大館市に戻ってきた場合に限定されます。両方の補助を使っても、奨学金の返済すべてがカバーできるわけではありませんので、残った部分を就職先の企業に協力していただき、最終的には大館に帰ってきた場合、奨学金の返済がゼロになる仕組みです。ただし、上限がありますので複数から借りている場合などはゼロにならないケースもありますが、本人の負担分がほぼ無くなります。</p>
教育長	<p>本当に前進したと思います。</p>
委員	<p>大きな一歩だと思います。着実に進められるよう願っています。</p>
教育長	<p>先ほど「きりたんぼまつり」の話が出ましたので、ボランティアの状況を説明願います。</p>
教育研究所長	<p>今年も「きりたんぼまつり」のボランティアについては順調に進んでいます。去年は高校のボランティアがテストなどの関係で少し足りませんでした。今年も3校から60名以上参加していただく予定です。小中高そろっての参加を予定しています。今回は後片付けを買って出してくれた中学生がいるのでうれしく思っています。</p>
教育長	<p>実は、力仕事なので後片付けが大変です。次に企業博覧会についても説明願います。</p>
教育研究所長	<p>10月21日と22日に開催される大館圏域産業祭の教育産業展で、北秋田地域振興局が中心となり、商工会議所、商工課、職業能力短期大学のコラボにより「小中学生向け企業博覧会」を行うことになりました。産業祭に出店している企業のご協力により8社のブースを設け、そこへ小中学生が出向きその企業の説明を10分程度聞くという内容です。1人5社程度を1時間程度で回る企画です。保護者も参加可能ですので、大人が大館の良さを知るいい機会になると思っています。</p>
委員	<p>インターネットの情報を一方的に知ることではなく、リアルな体験ができるのですね。</p>
教育長	<p>県の出先機関である北秋田地域振興局が主体となって企画運営することは初めてです。また、同様の企画を北秋田市の産業祭でも開催するそうです。このような形でキャリア教育が広がってきており、大変ありがたいと思っています。</p>
教育長	<p>他に何かありますか。</p>

委員	<p>前にもお話ししましたが、もう半年するとたくさんの先生たちが退職されます。子どもたちが落ち着いた状況でいい活動をしています。余計な心配かもしれませんが、若くキャリアが浅い先生は一生懸命やっていますが、経験が足りない部分で、日常の子どもたちの動きの中でも見えなかったり気にならなかったりというところを、今は周りの先生たちでカバーしている部分がたくさんあると思います。そういった部分が足りなくなるのではないかと、今がいいだけに私は気になります。気になるというよりもそこを越えていかなければならないのですが、そのための手立てとして何がどう必要なのか、どうできるのかと思っています。その辺についていろいろ施策を講じていると思いますので、お聞かせ下さい。</p>
学校教育課長	<p>来年度、学力向上フォーラムが大館市で開かれることが一つの機会となりまして、今から各学校には授業改善の準備を進めてほしいということや、退職される校長先生たちにも3月で終わりということではなく、来年11月に行われるフォーラムに自分の学校はどのような特徴を出して、また、どういう授業を目指してやっていくのかというプランを考えてほしいと伝えています。たくさんの校長先生が退職し途切れるということではなく、来年度の予定にかかわっていただきながら、プランを繋いでいただくよう考えています。それから今年度、教育研究所で授業力向上支援という新しい事業を取り入れました。採用1年目の先生は、授業をたくさん見たり研修を受ける機会がありますが、2年目から中堅と言われる9年目ぐらいの先生たちは、研修の回数が減り現場での実地となります。その先生たちにいろいろなものを吸収していただきたいという思いがありますので、教育専門官、授業マイスター、各校で授業名人といわれる先生たちの実際の様子を見たり話を聞き、刺激を受けながら職人技を覚えるということを目指したいと思い、年間の研修を考えています。</p>
委員	<p>これが継続され、継承されればと思います。よろしくお願いします。</p>
教育長	<p>他に何かありますか。</p>
教育長	<p>(「大館教育ツーリズム」戦略の概要)を、資料により報告)</p>
教育長	<p>これについて何かありますか。</p>
委員	<p>よくぞここまでという熱い思いでいっぱいです。最近、「人づくり革命」がマスコミをにぎわしています。革命という言葉が適切かどうか別としても、「つくりかえ」という意味では大館がその最先端を行っているのではないかと考えています。この「つくりかえ」ということは永遠に続く課題だと思っています。ここまで来ているのであればこれを伝統につくりかえていくべきだと思います。そういったところを目標に据えながらこれからやっていく必要があるのではないかと考えています。ぜひ伝統にしていきたいという思いでい</p>

	っばいです。
教育長	ありがとうございます。
教育長	他に何かありますか。
教育総務課長	(「矢立公民館移転事業の内容について」を、資料により報告)
教育長	これについて何かありますか。
委員	学校を公民館にする場合、何かハードルがあるのでしょうか。
教育総務課長	まず、文部科学省のハードルがあります。学校が新しいと、補助金の返還という問題があります。鉄筋コンクリートの場合、60年間の学校を使い補助金を活用するという制約があります。最近では制約が緩くなってきており、補助金返還分を市の基金に積み立て、基金を教育に使うというようになっています。次に建築基準法のハードルがあります。公民館は不特定多数の人が施設を利用しますので、学校よりも建築基準法が厳しくなっています。例えば排煙口を付けるなどです。また、消防法により非常用放送設備が必要となります。また、木の壁ではなく燃えにくい建材を使わなければなりません。
委員	分かりました。これから先のことを考えると、このような事例がたくさん増えてくるとお思いますので、計画的に考えていかなければならないと思います。よろしくお願ひします。
教育長	他に何かありますか。
教育総務課長	(次回の開催日程について)
教育長	他に何かありませんか。
	(「無し」の声あり。)
教育長	これをもちまして教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻 午後4時30分